

### 小学校の英語教育の充実を

**問** 国際的な視野を持つ児童・生徒を育成するため、小学校の英語教育を積極的に取り組む考えはないか。

**答** 中教審で導入の是非について審議中であるので、その動向を見守りたい。本市では英語教育よりも外国人に親しむという国際理解教育を実践している。

### 深刻な医師不足対策は

**問** 新城市民病院では、医師不足により診察に支障がでていると聞くが、蒲



蒲郡市民病院

郡市民病院の充足状況と確保対策について伺う。

**答** 近年、より専門化した医療体制が求められる時代となっており、現在の医師数は48名だが、60名は必要と考える。医師の絶対数が不足しているが、勤務環境を整備して医師確保に努めたい。

- その他の質問
- 1 行政改革
  - 2 都市基盤整備
  - 3 消防について
  - 4 競艇について

### 蒲郡新政クラブ

代表 小林 武 男

歳入歳出の現状と今後の課題について

**問** 三位一体の改革により多額の財源不足が発生したと思われるが、それどのように補うのか。また、今後の課題は何か。

**答** 収入減対策として補助金及び投資的経費の削減を図ってきた。今後は財



### 障害者自立支援法の施行

政調整基金の取崩し及び事業債の発行により財源を確保することになるが、歳出の削減はもとより、安定した税収の確保が最重要課題と考えている。

**問** 平成18年度から障害者自立支援法が施行されるが、現行の制度がどのように変わるのか。また、制度や手続の周知方法を伺う。

**答** 身体、知的、精神の3障害が一元化され、同じ制度で福祉サービスを受けられるようになる。障害者の方へは、団体の会議などに出向いて説明するほか、

広報掲載とともに福祉課窓口にパンフレットを置き、周知、説明に努めていく。

### 産業の活性化への方策は

**問** 地域経済活性化のため、浜町の未利用地や大塚民成地区への企業誘致を進めるのに、具体的にはどのようにしていくのか。

**答** 県の産業立地促進税制と市の産業支援条例とを合わせ、企業誘致活動、優良企業の市外転出を食い止めていく。現在西三河の大手優良企業を中心にセールス活動を進めているが、市内の優良企業には、広報、商工会議所を通じ、PRに努めていきたい。

### 市町村合併について

**問** この1年で東三河でも多くの市町村が合併した。合併に対する方向性をどう考えているか。また、御津町が合併推進の姿勢を示しているが、これをどうとらえているか。

**答** 合併には市民の意向を尊重したいと考えている。御津町は相手方を特定していないので、動きがあれば意向確認はするが、現時点では蒲郡側から動く考えはない。現在、市民から合併に対する機運は強く感じられないが、今後の動向を見守っていきたい。

公明党蒲郡市議団  
代表 松本 昌成

行政改革と財源確保のための取り組みを

**問** ラグーナの第3セクター見直しの時期について伺う。

**答** 埋立地の処分が完了した時点で出資比率の変更を検討する可能性もあると考える。

**問** 市の財源確保策として、広告による歳入確保をどう考えているか。

**答** 平成18年度に様々な媒体について検討し、実施の方向で考えていきたい。電子入札の取り組み状況はどのようか。